

## 令和3事業年度決算について

本学においては、令和4年6月9日に令和3事業年度の財務諸表を文部科学大臣に提出し、同年6月22日付で文部科学大臣の承認を受けました。この財務諸表は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」並びに「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針に基づき作成したものであり、広く国民の皆様にも本学の財務状況等をお伝えするため、ここに公表いたします。

財務状況の経年の推移等をまとめた「財務レポート2022」（仮題）についても、後日、作成することとしておりますので、併せてご覧ください。

### 財務状況

(1) 本事業年度末における資産は16,932百万円、負債は6,207百万円、純資産は10,725百万円となっております。（貸借対照表参照）

資産については、前年度に対し、固定資産が、有形固定資産の増等により183百万円の増となり、流動資産は、現金及び預金の増等により487百万円の増となり、資産全体では、671百万円の増となっております。

負債については、前年度に対し、固定負債が、資産見返負債及び長期未払金の増等により195百万円の増となり、流動負債は、未払金の増等により332百万円の増となり、負債全体では、528百万円の増となっております。

(2) 本事業年度においては、経常費用6,882百万円、経常収益7,248百万円、当期総利益467百万円となっております。（損益計算書参照）

経常費用については、前年度に対し、教育経費が38百万円の減、研究経費が47百万円の増、教育研究支援経費が30百万円の増、人件費が46百万円の増となり、経常費用全体では192百万円の増となっております。

経常収益については、前年度に対し、授業料収益など学生納付金収益が43百万円の減、受託研究収益が63百万円の増、受託事業等収益が93百万円の増、補助金等収益が54百万円の増となり、経常収益全体では208百万円の増となっております。

なお、第3期中期目標期間の最終に当たる本事業年度の当期総利益は、積立金として整理され、第4期中期目標期間（令和4～9年度）に繰り越されることとなります。

国立大学法人の財務運営については、毎年度、運営費交付金の予算が漸減する中、一定の率による削減額を原資として指標評価に基づく傾斜配分が行われる等、厳しい状況下に在りますが、効率的な経営に努めるとともに、教育研究等の充実・発展に邁進する所存ですので、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年8月

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学